

朝夕の冷え込みで冬が近いことを感じる時期になりました。温度の変化や空気の乾燥は、人だけでなく犬も体調を崩す原因となります。

散歩は暖かい日中に。その際、暖かい室内と冷たい外気との急激な気温差を軽減するため、玄関など外の気温と比較的近い所で少し体を慣らしてから外に出るとよいでしょう。

この時期は乾燥している上、暖房器具の利用でさらに室内が乾燥します。乾燥は皮膚や気管支に影響を与えやすくなります。加湿器や水を張った容器、ぬれたタオルを部屋に置くなどして、適度な湿

季節の変わり目、体調管理しっかり

あ
ん
し
ん
ペ
ット
ラ
イ
フ
78

度を保つようにしましょう。犬種や成育環境により個体差がありますが、湿度は50～60%程度が快適だといわれています。

また、犬は人と比べて部屋の低い場所で生活をしています。犬のよく過ごす場所が暖まるように工夫しましょう。

ただ、エアコンの温風が直接当たらないよう噴出口の位置にも注意を。ホットカーペットを使用する場合は、低温やけどを防ぐため、タイマーを利用したり、設定温度を低

めにしたりするとよいでしょう。ストーブを使い始めたら、ガードを置くなど物理的に近づけないように工夫をして、やけどを防ぎましょう。

電気コード類はかじらないようにカバーをしたり、壁に沿ってはわせたりすることも必要です。

明日は二十四節気の一つ「小雪」。冬に備えて生活環境を整え、体調管理をしていきましょう。

(アニコム損保
獣医師 山田恵理子)